

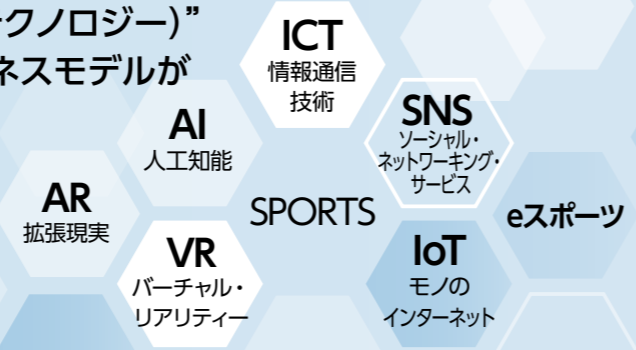
# スポーツは、投資でも面白くなる時代へ。

## 3つのメガトレンドがスポーツビジネスの成長を加速させる



### 1. イノベーション(技術革新)の進展

“スポーツテック(スポーツ×テクノロジー)”により、新たな付加価値・ビジネスモデルが続々と誕生。



### テクノロジーがスポーツを変える

スマートスタジアム



VR



eスポーツ



AIを活用したトレーニング



## 3つのメガトレンドとスポーツ

### 2. 新興国がけん引する世界経済の成長

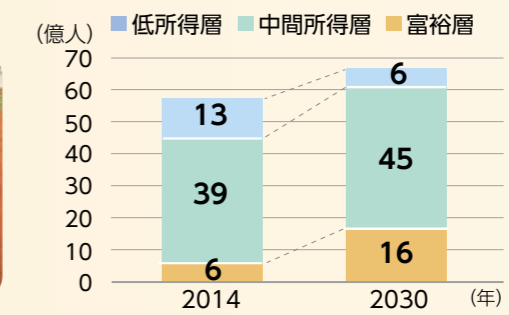
新興国を中心とした中間所得層・富裕層の急速な増加により、今後もスポーツ関連支出の大幅な拡大が見込まれる。

### 所得が増えるとスポーツにお金流れ込む

新興国のスポーツ風景は様変わり



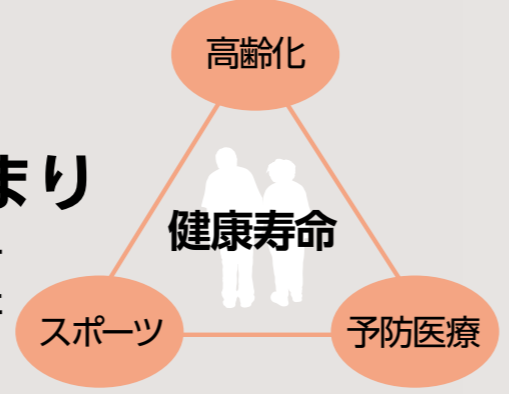
新興国の所得階層別の人口



出所)三菱総合研究所の資料をもとにニッセイアセットマネジメント作成  
 2030年は2016年時点の三菱総合研究所の予測値  
 各所得層は1日の1人当り消費支出額による区分  
 低所得層:2米ドル未満  
 中間所得層:2米ドル超20米ドル未満  
 富裕層:20米ドル超

### 3. 高齢化の進展と健康意識の高まり

健康寿命の延伸、医療費の抑制にも活用されるスポーツ。スポーツビジネスは、景気に左右されにくい安定した成長が期待される。



### スポーツは健康長寿へのパスポート

高齢者向けフィットネスジム



パラスポーツ



生活習慣病・認知症の予防プログラム

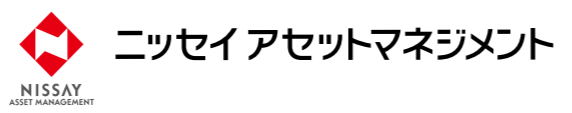


自治体主体のスポーツ行事



## 株式市場において、スポーツビジネスは息の長い投資テーマ！

投資するタイミングに迷ったら



商号等:ニッセイアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号  
 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

#### 【ご留意いただきたい事項】

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。投資信託のご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。当資料のいかなる内容も将来の市況動向等を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。資料中の画像等はイメージをお伝えするものです。

息の長い投資テーマに投資をしたいけれど  
いつ買ったらいいのかわからない…  
投資タイミングが難しい…

# それなら 投信積立 ではじめてみませんか?



## 投信積立の3つの「できる」

**長期投資**できる

**時間分散**できる

**銘柄分散**できる

長期的に投資を続けることによって、短期的な相場の動向に左右されにくくなる傾向があります。

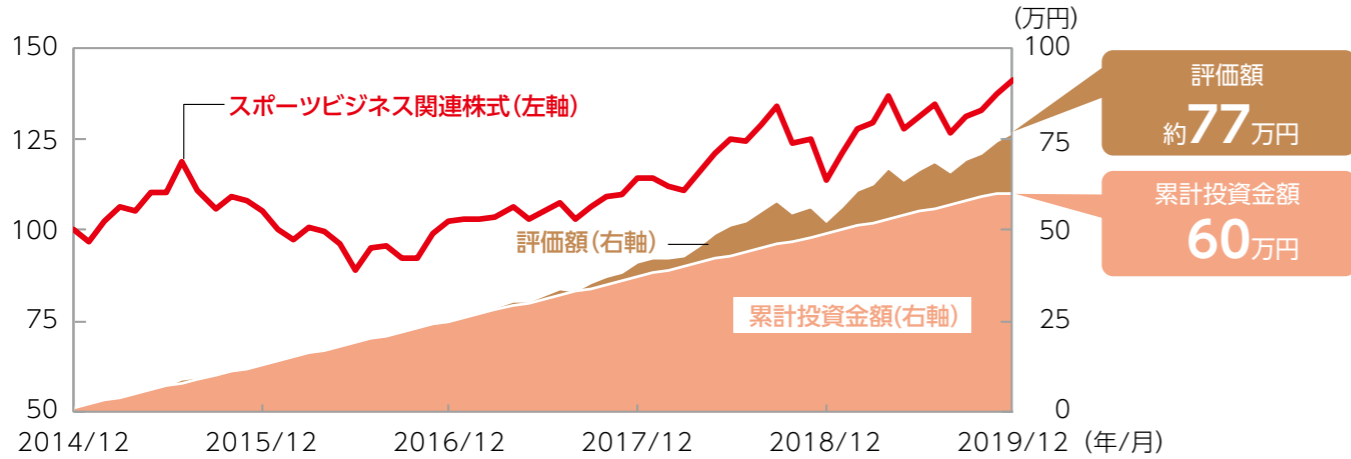
投資タイミングを分けることで、高値掴みや安い時の買い損ねを避けることが期待できます。

値動きの異なる複数の銘柄に投資することで、全体の値動きを緩やかにする効果が期待できます。

## 投信積立のいいところ 購入タイミングに悩まない

定期的買い付けを行う投信積立なら、  
購入タイミングによる損益の振れ幅を抑えることが期待できます。

### スポーツビジネス関連株式に毎月1万円ずつ5年間積立投資した場合のシミュレーション

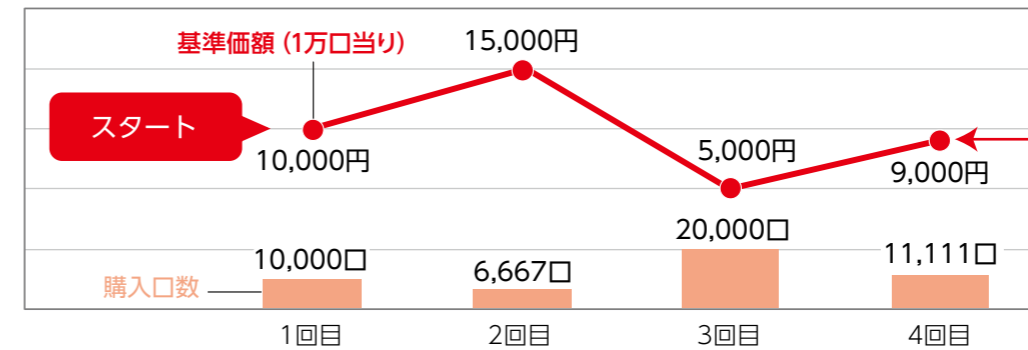


データ期間:2014年12月末~2019年12月末(月次)  
スポーツビジネス関連株式:スポーツビジネス関連株式の動向を示す適切な市場インデックスが存在しないことから、ニッセイアセットマネジメントが設定・運用する世界のスポーツビジネス関連企業の株式に投資するマザーファンドの運用実績(信託報酬等コスト控除前)を使用。あくまでご参考としてお考えください。2014年12月末を100として指数化。費用・税金等は一切考慮していません。将来の運用成果等を示唆、あるいは保証するものではありません。

## 投信積立のいいところ 平均購入単価を下げる

同じ投資信託などを定期的に一定額ずつ購入する投資方法を「ドル・コスト平均法」といいます。基準価額が高い時には購入口数は少なくなり、基準価額が安い時には購入口数が多くなります。結果として、平均購入単価を下げる効果が期待できます。

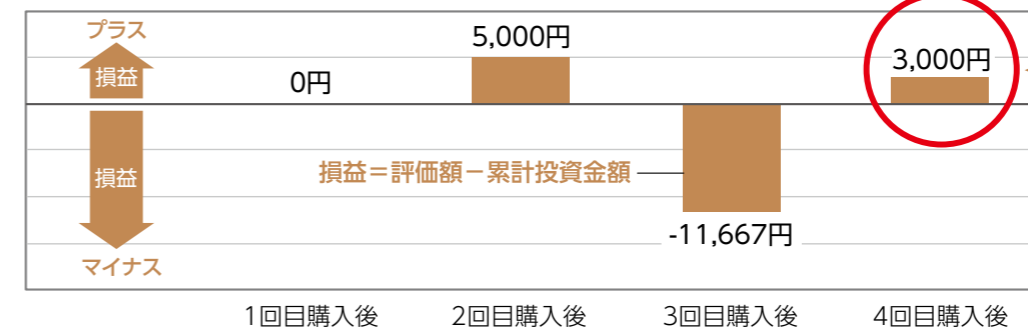
### 投資信託を毎回1万円ずつ購入する場合のイメージ



基準価額が高い時には少なく、安い時には多く買える

	1回目購入後	2回目購入後	3回目購入後	4回目購入後
累計購入口数	10,000口	16,667口	36,667口	47,778口
累計投資金額	10,000円	20,000円	30,000円	40,000円
評価額	10,000円	25,000円	18,333円	43,000円
損益	0円	5,000円	-11,667円	3,000円

1万口当り平均購入単価 **8,372円**



基準価額が9,000円になったにもかかわらず、平均購入単価が下がったことにより、損益がプラスに

上記は架空の基準価額を用いて計算したものであり、実際の基準価額を示唆するものではありません。また、購入時手数料等は考慮していません。ドル・コスト平均法は相場下落時における損失を防止するものではありません。

## これからの「人生100年時代」、積立投資でコツコツお金を育てよう。

### 投資信託のリスク

- 投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産の場合には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- 投資信託は、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、リスクを十分にご認識ください。
- 基準価額の変動要因は個別の商品毎に異なります。ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

### 投資信託の費用

- 〈購入時に投資者が直接的に負担する費用〉 ● 購入時手数料
  - 〈換金時に投資者が直接的に負担する費用〉 ● 信託財産留保額 ● 換金手数料
  - 〈保有期間中に投資者が信託財産で間接的に負担する費用〉 ● 運用管理費用(信託報酬) ● 監査費用 ● その他の費用・手数料(組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用、借入金の利息等)
- ※当該費用とその合計額、上限額および計算方法は個別の商品毎に異なりますので、当資料では記載していません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。